

Ⅱ - 1. 総合・分野別スコア概要

要

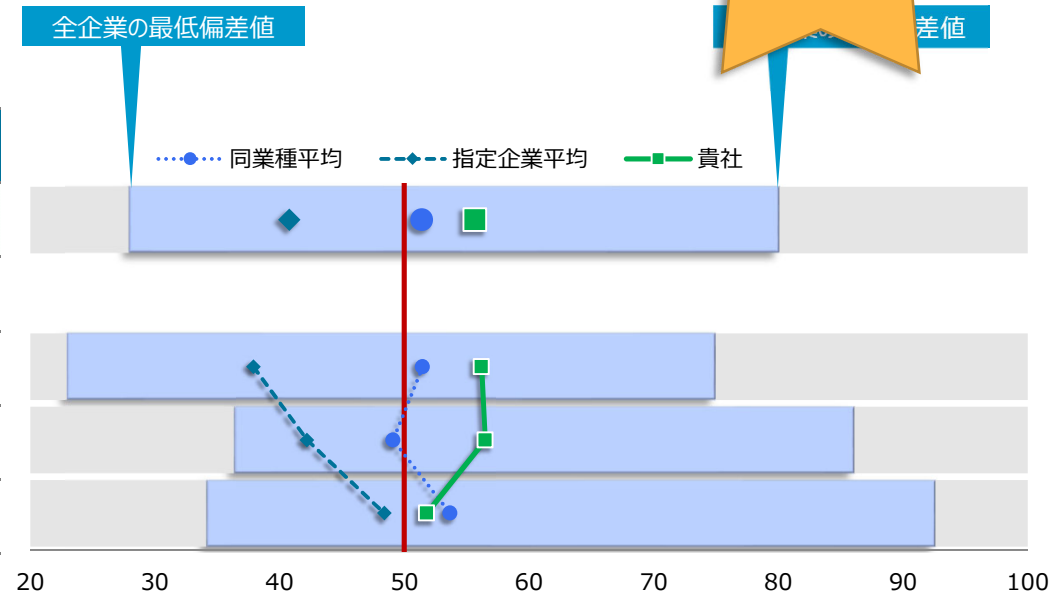
結果概要

ベンチマークレポート（プレミアム版） Sample

※本編約80p+データ編約100pの構成です。
 ※ベンチマークレポートは、PDFでのご提供となります。

先行納品
 (予約特典)

	貴社偏差値	貴社ランク	業種平均偏差値	指定企業平均偏差値
総合偏差値	55.7	A++	52.5	40.8
人材活用力	56.2	A++	52.7	37.9
イノベーション力	56.5	A++	49.7	42.2
市場開拓力	51.8	A+	54.6	48.4



貴社業種 (AQ1回答/分析用)	食品/食品
貴社指定企業 (計0社)	A社、B社、C社、D社、E社、F社、G社

<分析用業種について>

評価で業種別の調整を行う場合には貴社がAQ1で回答している業種を使用していますが、当レポートでは、貴社の回答業種や指定企業の業種などを参考に弊社にて付与した「分析用業種」を使用しています。以下「業種平均」は、この「分析用業種」が貴社と同じ企業の平均を表しています。

Ⅲ - 1. 指標別偏差値

Ⅲ. 項目・指標別分析

フィードバック資料に掲載されている指標ベースでの、貴社と指定企業平均の位置付けを一覧できる形で表しています。
 全企業の最高・最低偏差値と併せて確認することで、スコアを上げやすい指標、上げにくい指標がひと目で分かります。

ベンチマークレポート（プレミアム版） Sample

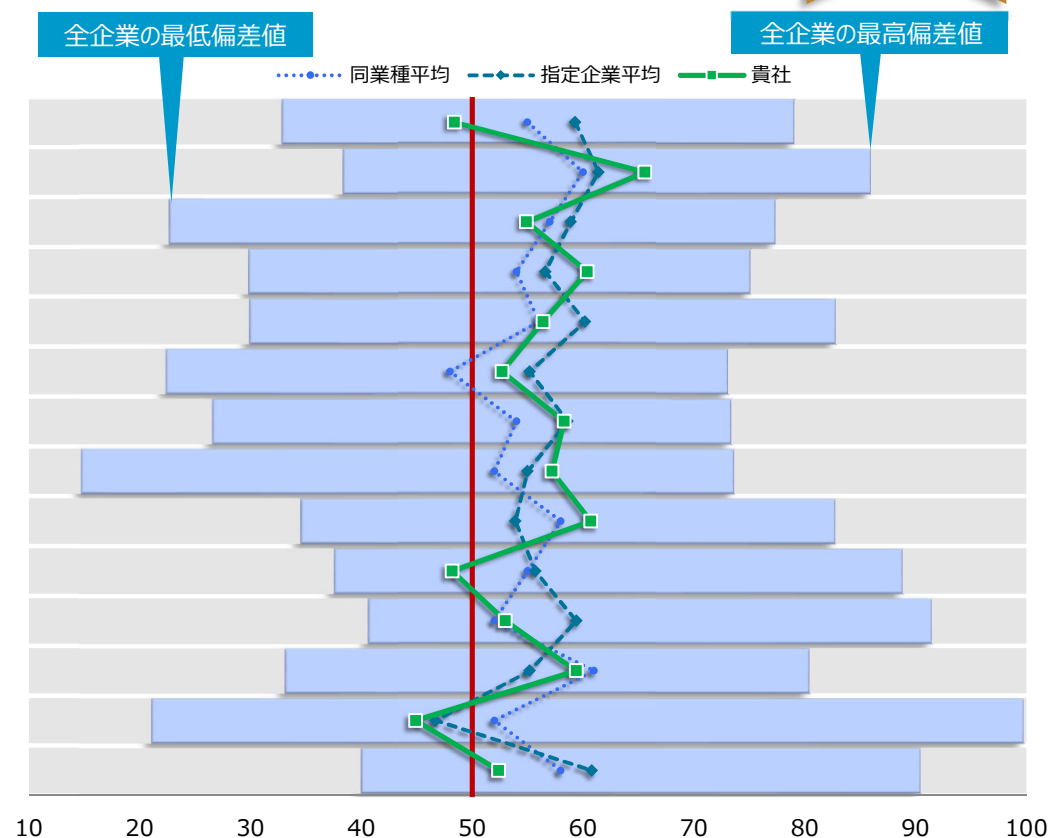
※ベンチマークレポートは、PDFでのご提供となります。

先行納品
 (予約特典)

表示している項目は、全企業平均から偏差値50台に密集し、極端に悪い企業が一部存在している、といったことが読み取れ、つけられている項目ほどマイナス幅が大きくなります。

		貴社	指定企業平均	ギャップ
共通	方針・計画と責任体制	48.4	59.3	-10.9
	テクノロジーの導入・活用	65.6	61.4	4.2
人材 活用力	ダイバーシティの推進	54.9	58.9	-4.0
	多様で柔軟な働き方の実現	60.4	56.6	3.8
	人材への投資	56.4	60.2	-3.8
	ワークライフバランス	52.7	55.2	-2.5
	エンゲージメント	58.3	58.6	-0.3
	人材の確保・定着と流動性	57.2	55.0	2.2
イノベー ション力	新事業、新技術への投資	60.7	53.9	6.8
	イノベーションの推進体制	48.2	55.7	-7.5
	社外との連携	53.0	59.4	-6.4
市場 開拓力	ブランド力	59.4	55.2	4.2
	市場浸透	44.9	46.7	-1.8
	市場拡大	52.4	60.8	-8.4

* 赤いラインが偏差値50 (平均点)

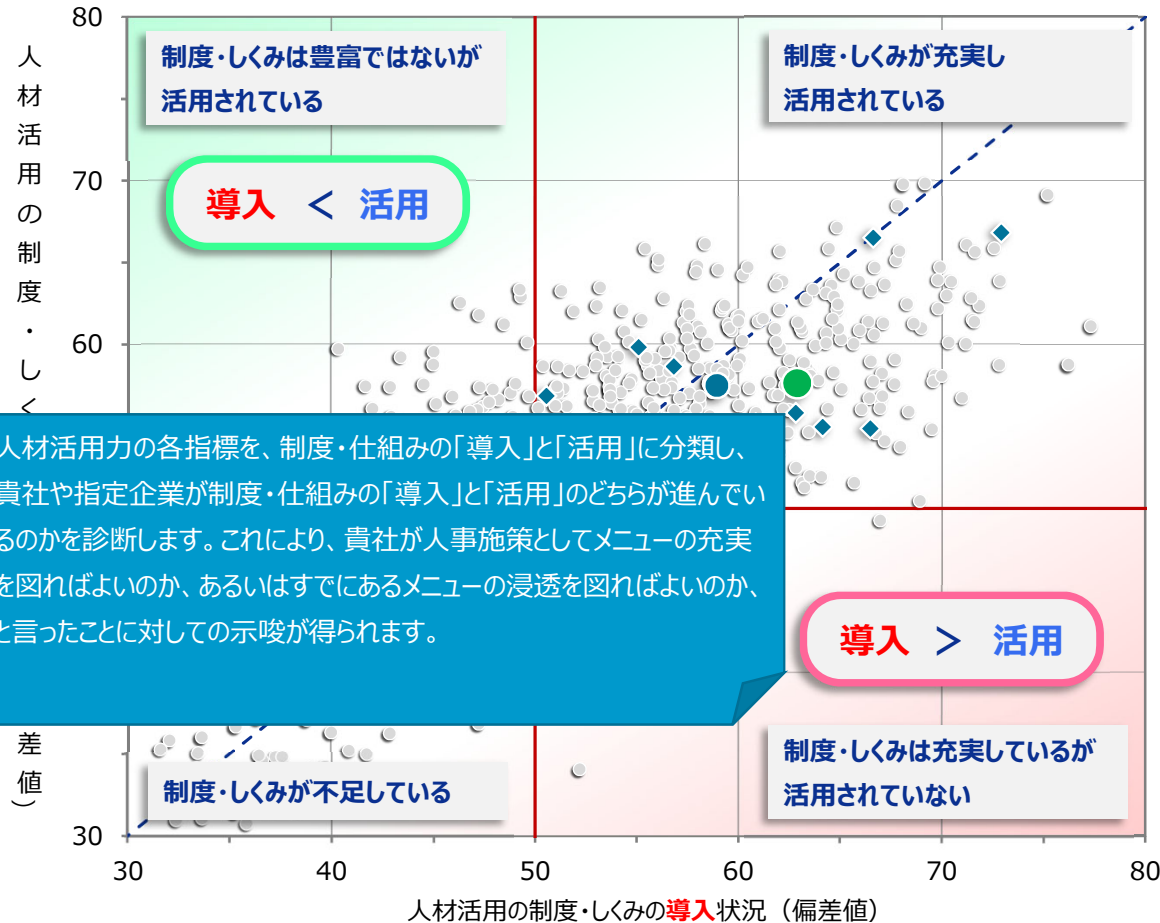


1. 導入と活用の関係～人材活用全体

人材活用の制度・しくみについて、導入状況と活用状況それぞれの得点の偏差値を軸に回答企業全社、指定企業内における貴社のポジショニングを把握できます。

ベンチマークレポート（プレミアム版） Sample

※ベンチマークレポートは、PDFでのご提供となります。



人材活用力の各指標を、制度・仕組みの「導入」と「活用」に分類し、貴社や指定企業が制度・仕組みの「導入」と「活用」のどちらが進んでいるのかを診断します。これにより、貴社が人事施策としてメニューの充実を図ればよいのか、あるいはすでにあるメニューの浸透を図ればよいのか、といったことに対する示唆が得られます。

めななくてもうまく回っている企業もありますが、規模が拡大してくるとうまくいかなることがあります。また、選択肢を厳密に解釈しすぎているのが原因で、本来ならばもっとチェックをつけられるケースもあります。

<左図の各エリア毎の社数分布>

	導入 < 活用			
	6	34	17	14
13	108	98	35	61
50	98	99	53	3
88	34	19	1	3
				導入 > 活用

*偏差値30台は30未満を含みます

右下は、取り組みの選択肢に多くチェックしているものの、数量値の回答のレベルが低いことを表しています。単純に取り組みから日が浅く成果が出ていない場合もありますが、数量値の回答欄を十分に埋められていないケースや、選択肢設問で実態よりも過大にチェックしすぎているケースが多いです。

IV-2. 詳細項目 指定企業との比較

ベンチマークレポート (プレミアム版) Sample

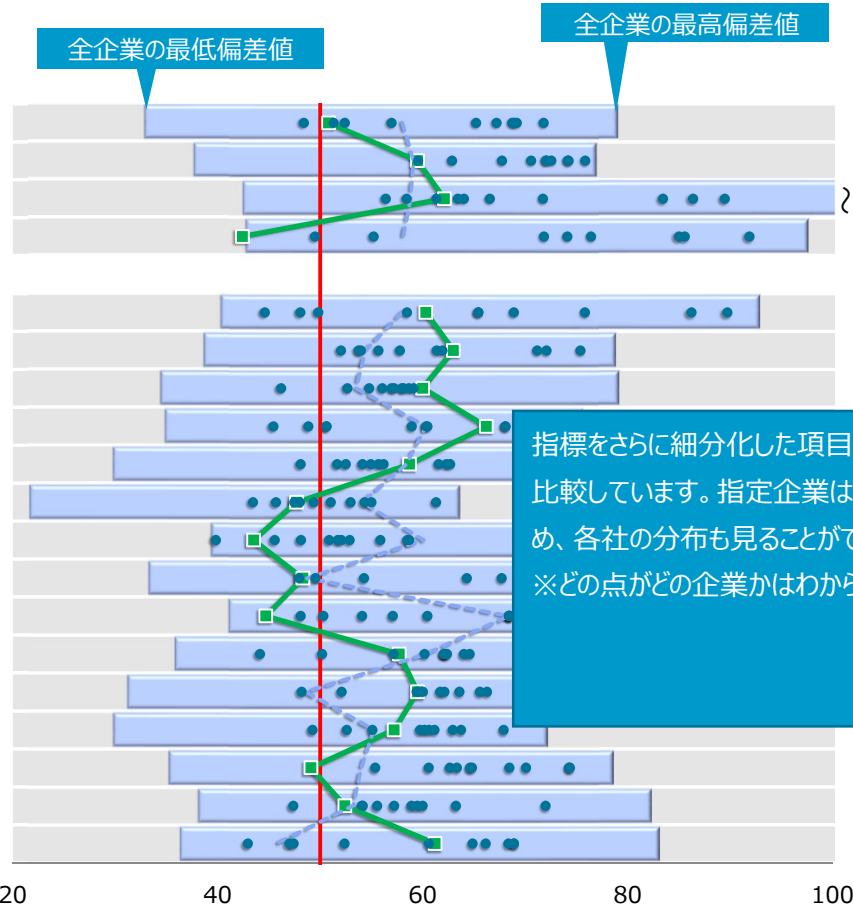
※ベンチマークレポートは、PDFでのご提供となります。

先行納品
(予約特典)

1.3 分野共通項目・人材活用力①

ここでは14指標をさらに細分化した詳細項目について、指定企業と比較しています。指定企業は平均を線で表しているのに加え、青い点が指定企業各社を表しています。ここでの偏差値は得点率の偏差値を表しています。貴社、あるいは貴社の所属する業種にとって重要度の低い項目に関しては、一部配点から外したり配点の割り下げるなど全体に与える影響度を小さくする配慮をしている場合があり、必ずしも得点を下げる大きな要因になっているとは限りません。なお、記者評価の項目に関しては、貴社偏差値・指定企業偏差値とも非公開となっておりますのでご了承ください。

<3分野共通>	貴社 偏差値
方針・計画と責任体制	50.8
導入しているテクノロジー	59.5
テクノロジーの活用	62.1
人的・ユニーク施策	42.4
<記者評価>	
役員・執行役員登用	60.3
役員登用 (部長以上)	63.0
役員登用 (課長)	60.0
その他	66.2
推進	58.7
	47.7
	43.5
	48.3
	44.7
	57.7
	59.5
	7.2
1	1



指定企業平均		指定企業トップ	
偏差値	ギャップ	偏差値	ギャップ
58.0	-7.2	70.1	-19.3
59.1	0.4	46.4	13.1
58.8	3.3	78.3	-16.2
58.1	-15.7	85.1	-42.7
58.0	2.3	79.3	-19.0
54.4	8.6	64.0	-1.0
53.5	6.5	64.4	-4.4
55.2	2.0	62.1	-4.9
54.0	-4.9	73.7	-24.6
53.2	-0.8	62.9	-10.5
45.7	15.5	57.7	3.5

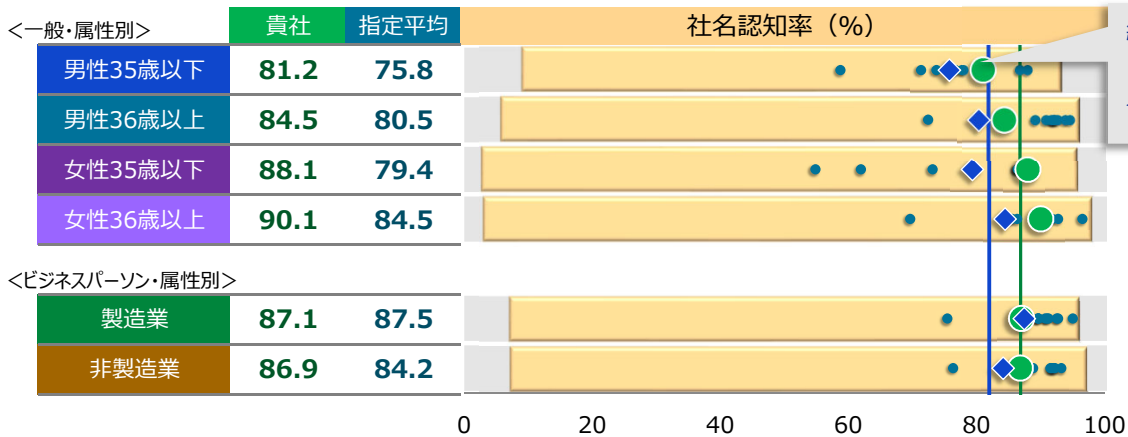
指標をさらに細分化した項目ベースでも、貴社と指定企業の偏差値を比較しています。指定企業は平均だけでなく、1社1社プロットしているため、各社の分布も見ることができます。
※どの点がどの企業かはわからないようになっています。

> V-1. ブランド評価詳細

ベンチマークレポート (プレミアム版) Sample
 ※ベンチマークレポートは、PDFでのご提供となります。

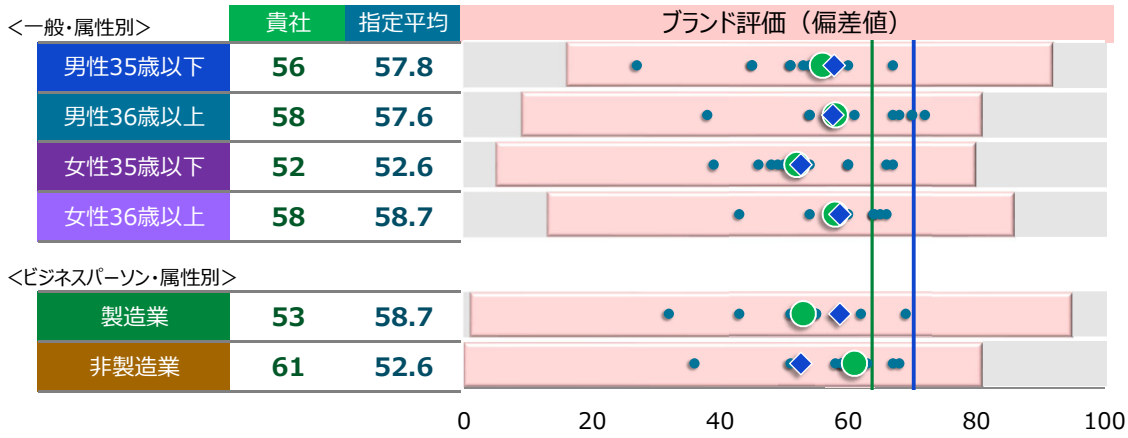
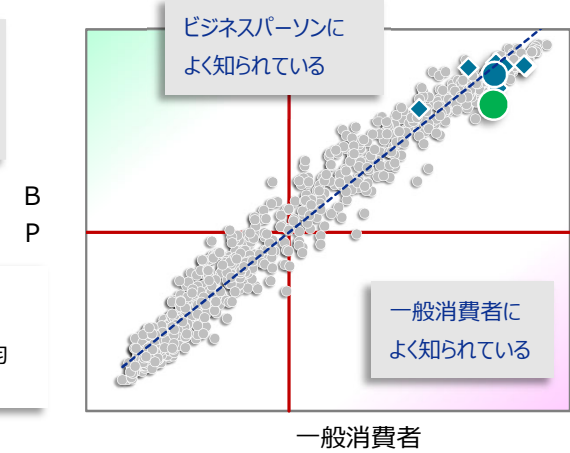
1. 属性別認知率/ブランド評価

ブランド評価ではまず社名を知っているかを尋ねた上で、その企業を知っていると答えた人のみに、イ
 その上で「ブランド戦略サーベイ」のフレームに基づき、各スコアを偏差値化したものが「ブランド評価」になります。
 社名を知っている人のみが評価をしているため、認知度が低い方が、ブランド評価は若干上振れしやすい傾向があります（認知度が高いと中間的な回答が増えるため）。



緑と青の縦線はそれぞれ「貴社」「指定平均」の総合（全属性）です

- 全体
- ◆ 指定企業
- 指定企業平均
- 貴社



プレミアム版では、ブランド調査における貴社と指定企業の認知率やブランド評価を比較可能です。一般人とビジネスパーソンについて属性別で記載しているため、認知率や評価向上に取り組む際のターゲットを特定できます。



2. 所属するグループの特徴

貴社の所属する2つのグループの属性的な大まかな特徴はこちらで確認できます。帯グラフの中心となっており（このため貴社値がグラフの範囲外となっている場合もあります）。

ベンチマークレポート（プレミアム版） Sample

※ベンチマークレポートは、PDFでのご提供となります。

New!

貴社グループ:	a3	a4	貴社
正社員女性比率			26.7 %
正社員100人あたり非正社員人数			3.6 人
連結従業員のうち国内勤務者割合			60 %
現業職の割合			11 %
正社員のうち地域限定正社員比率			3.3 %
正社員100人あたりIT人材			6.8 人
入職率（新卒+中途）			5.3 %
離職率			1.1 %
加重平均労働時間			1960 時間
平均年間給与			950 万円
在宅実施率（2023年3月）			27 %



人員構成や回答内容を分析して特徴ごとに企業を15グループに分類し、貴社を2つのグループに割り当てています。所属グループのプロットと貴社プロットを確認することで、どの特徴でグループと似ているのかを判断できます。

不労経田売上比率

V-3. SW企業タイプ分析 所属グループ上位10社比較

ベンチマークレポート（プレミアム版） Sample

※ベンチマークレポートは、PDFでのご提供となります。

New!

グループa3

該当社数： **85** 社

■上位10社平均の高い項目

51	オープンイノベーション
59	顧客把握
4	先進的・ユニーク施策
52	ベンチャー・スタートアップ
48	イノベーション推進力
2	導入しているテクノロジー
23	従業員の社外活動

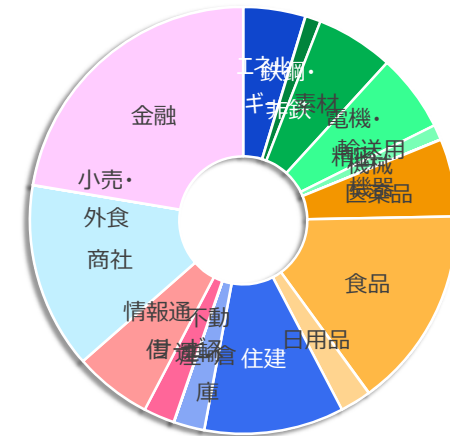
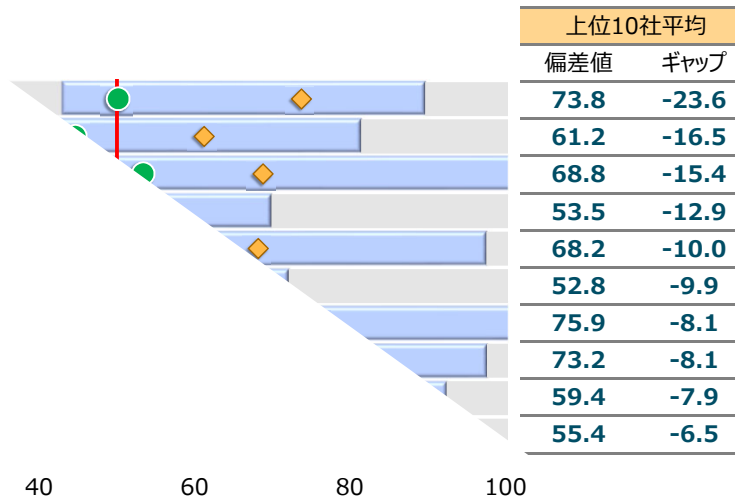
■このグループの特徴

割り当てられたグループの特徴とグループ内上位企業、上位10社で高い項目や貴社と比較してギャップの大きい項目を示しています。
グループ上位と比較することにより、貴社の改善しやすそうな項目や、強みとなる可能性のある項目を把握できます。

このグループの上位企業（五十音順）

- F社
- G社
- H社
- I社
- J社

■このグループの業種構成



ベンチマークレポート (プレミアム版) Sample

※ベンチマークレポートは、PDFでのご提供となります。

New!

ここではタイプごとに抱えていると思われる課題と、それに対応したKPIになりうる項目を紹介し

課題:

多様性の確保

■ 課題例:

新たな発想が意思決定に活かされる環境を作るため
マネジメント層での多様性が重要

人員構成や回答内容を分析して特徴ごとに企業を15グループに分類し、タイプごとに抱えていると思われる課題例・課題に対する取り組み例を開示しています。

■ 課題に対する取り組みの例:

- ・ダイバーシティ推進に関する宣言を経営トップから発信し、社内への浸透を図る。
また、ダイバーシティ推進のための専門部署を設置し、ステークホルダー視点から推進に取り組んでいる
- ・アルムナイ採用・カムバック採用
中途採用を募集

■ 上記課題に対応する指標:

指標

部長相当職 平均年齢
正社員全体・女性比率
新卒入社女性比率
中途入社女性比率

*「参照ページ」は対応するデータ編のページ番号

ベンチマークレポート（プレミアム版） Sample

※ベンチマークレポートは、PDFでのご提供となります。

2. 多様で柔軟な働き方

ここでは実際に評価を得た具体的な回答を紹介しています。回答は評価の高い順に並んでおり、できるだけ原文のまま載せていますが、社名がわからないよう固有名詞を一部削除したり、

■ BQ65. 人材活用に関する先進・ユニーク施策【多様で柔軟な働き方】

「■■制度」。多様化する「個人の価値観」を踏まえ、働く「地域」を柔軟に選択できることで、従業員の就業継続を支援することが狙い。育児や配偶者との同居などを理由に一定期間勤務地を固定希望勤務地への転勤が可能となる。対象者当たり■■の枚数は2枚あり、1枚あたり最大3枚がある。※介護や看護などは■■を使用しなくても会社側が配慮を行い運用。

育児や介護など時間に制約がある働き方を1カ月間疑似体験する「■■」。突発的な働き方を意識することで、残業時間を前年同月比4割減の成果や施策導入前に比べ休取得率は73%まで上昇するなどの成果がでている。またライブイベントを運営しながら働き続けるために必要な周囲のマネジメント向上や、組織文化づくりがなされている。

■■と名前で、業務内容も異なる。また、透明な働き方を実現する。原則水曜日を閉めずに営業や売上を伸ばすという声もあふれている。予定。

配点対象となっている自由記述設問については、回答傾向の分析に加え、高評価を得た回答の一部を紹介しています。

※個社が特定できないよう配慮しています。

取り組みの参考、回答方法の参考としてお使いいただけます。

国の出生時育児休業（産後休業）給付金として給与の約10割を給付する。2022年度までに男性育児休業取得率は90.5%

転居転勤しやすい

年間30日を上限に約40の国と地域からリモート勤務が可能な■■制度を導入。社員がイントラネット上で自分の国籍等を入力すると、税制や輸出管理上、リモート勤務しても問題のない国や地域が選べられ、リモート勤務を申請できる。国籍と働く場所を組み合わせると2千通り以上になる。現在、全社員158名が制度を活用して海外リモートワークを実施。

がんを含む疾病・傷病で長期的な治療が必要になった際は所属長・健康立支援コーディネーターが時に主治医とも相談しながら個人の病状に合わせた両立支援プランを策定し、職場全体で支援体制の構築を実施している。また、がん両立支援金制度として健康保険料の負担軽減や医療費用を補償する制度やがん所得補償制度を策定

事業所内保育所の運営受託を行う■■の事業所内保育所の設立支援を開始。保育士が講師を務める。全員がチームとなってア

基本方針に

Ⅶ-1. データサマリー

ベンチマークレポート（プレミアム版） Sample

※ベンチマークレポートは、PDFでのご提供となります。

1. 属性・経営関連データ

実施内容	貴社回答	実施率		指定企業 実施社数	備考	参照 ページ
		全体	貴社業種			
組織形態	指名委員会等	5.9%	3.5%	3社	指名委員会等設置会社の割合	
統括責任者【人材活用】	執行役員以上	75.2%	86.0%	10社	「執行役員以上」の割合	
統括責任者【イノベーション】	本部長以下	56.7%	64.0%	10社	同上	
統括責任者【市場開拓】	執行役員以上	53.0%	53.5%	10社	同上	
人的資本経営の推進方針	方針を定め開示・実施	62.7%	67.4%	10社	「方針を定め開示・実施」の割合	
経営トップの後継者育成【候補リストを作成】	-	29.1%	29.1%	9社		
経営トップの後継者育成【採用段階から区別】	-	8.2%	8.1%	4社		

実績指標	単位	貴社回答	回答平均値			備考	参照 ページ
			全体	貴社業種	指定企業		
職掌別構成比率【総合職】	%	79	74.5	60.9	71.7		14
職掌別構成比率【現業職】	%	11	10.7	25.7	13.4		14
取締役（社内）平均年齢	歳	58	60.6	61.9	61.1	指名委員会等設置会社は執行役を表示	27
取締役（社内）最年少年齢	歳	51	53.9	56.6	54.3	同上	27
執行役員平均年齢	歳	52	56.8				
執行役員最年少年齢	歳	50	50.4				
正社員女性比率	%	20.6	27.0				
正社員1000人あたり外国人社員数	人	2.8	11.3				
正社員100人あたり非正社員数	人	2.4	51.2				
正社員100人あたり継続雇用者数	人	4.4	5.6				
正社員平均年齢（男性）	歳	45.7	42.2				
正社員平均年齢（女性）	歳	38.5	38.8				
平均勤続年数（男性）	年	21.8	16.0	17.9	15.9		25
平均勤続年数（女性）	年	13.2	12.7	14.4	12.9		25

自社と指定企業の回答内容について、特に評価上差がつかやすい項目を中心に見やすくまとめています。スコアベースではなく調査票の回答ベースで、指定企業と比較した強み、弱みを一覧できます。

ベンチマークレポート (プレミアム版) Sample

※ベンチマークレポートは、PDFでのご提供となります。

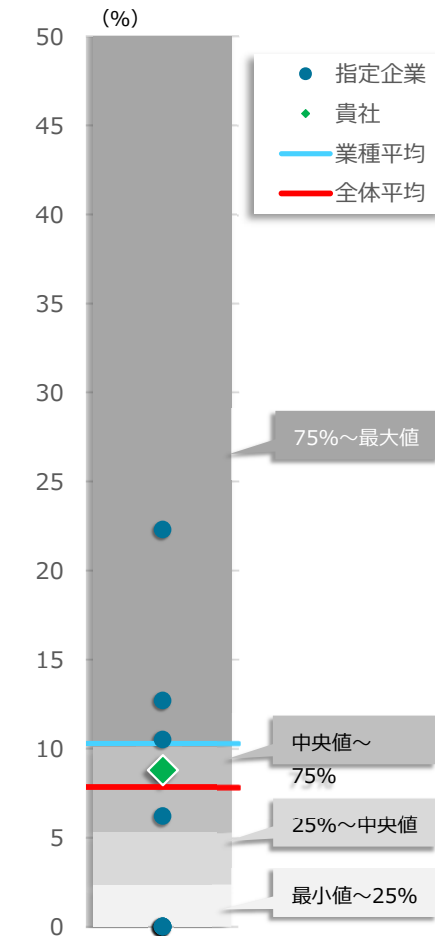
7. 課長相当職以上【ライン職】女性比率 (BQ11)

課長相当職以上 = 執行役員・部長相当職 (ライン) ・課長相当職 (ライン) の合算です。

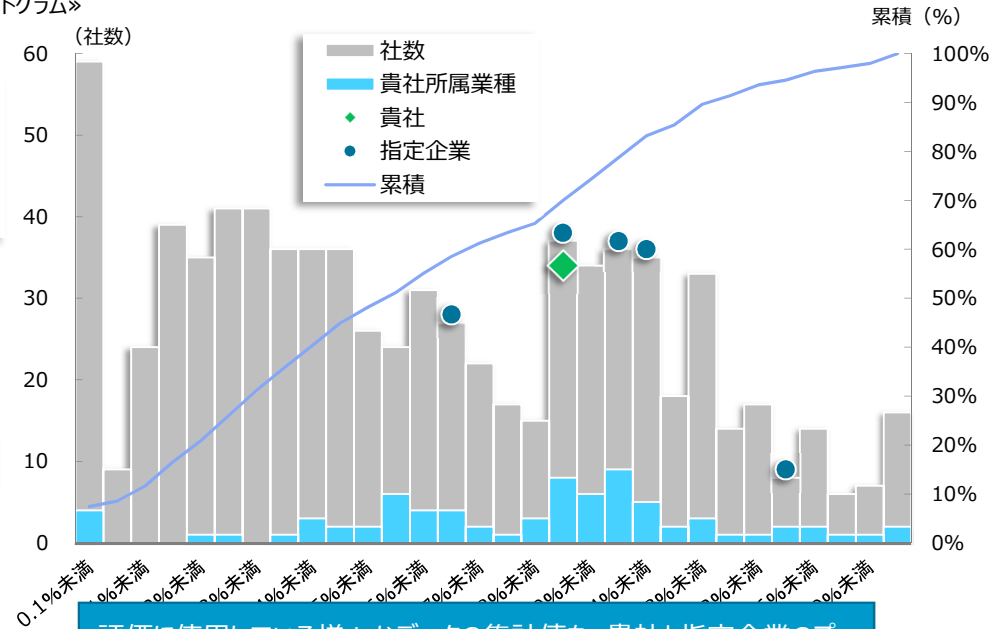
「分析軸別平均値」

業種 (分析用)	平均
エネルギー	3.4
鉄鋼・非鉄	1.9
素材	3.8
電機・精密	4.6
機械	3.6
輸送用機器	2.0
医薬品	11.8
食品	7.6
日用品	13.6
住建	2.7
不動産・倉庫	9.3
運輸	7.7
サービス	16.3
情報通信	10.3
商社	4.4
小売・外食	12.2
金融	13.8
【総合評価】	
S+以上 (偏差値65~)	10.6
S (偏差値60~65)	8.9
A++ (偏差値55~60)	7.9
A+ (偏差値50~55)	7.5
A以下 (偏差値~50)	7.4

「データの分布」



「ヒストグラム」



評価に使用している様々なデータの集計値を、貴社と指定企業のプロット付きで見やすく表示しています。
 四分位ごとに色分けしたデータの分布から、回答内容の密集度を把握できます。